

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生体の機能（循環と血液）				学期	曜日	校時
英語名	Basic Human Physiology (Circulation and Blood)						
担当教員名	瀬戸 信二他	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期 水曜日	3校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>血液、呼吸器、循環器疾患の実際の診療に携わっている医学部教官が分担して講義します。生体の機能、なかでも生体維持の中枢でもある循環系に関わる血液、肺（呼吸機能）、心臓の働き、血圧の項目について、さらには高血圧症など関連する病気についてもなるべくわかりやすく解説したいと考えています。生体内での循環の仕組みが理解でき、どのように生体を維持しているかを理解できるようにするとともに、生体の巧妙なメカニズム、不思議さに気づいてもらえればと思っています。</p>							
テキスト、教材等							
教科書は用いず、適宜プリント資料の配付、スライド、ビデオなどを用いて講義を行う。							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	出席状況を考慮し、定期試験にて行う。						
授業計画							
<p>5人の教員が各項目を分担して講義します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生体内を循環している物質、その本態である血液について、血液細胞の種類、その産生秩序と機能、また、血液細胞の一生について分かりやすく解説する。 2. 肺は血液におけるガス交換を主な機能とする臓器であり、心臓と肺血管との間で肺循環（小循環）系を形成しているが、肺自体には内在する肺胞を守る機能も有している。ガス交換や換気力学などの呼吸機能検査のみでなく肺の感染防御機能についても講義する。 3. 心臓の重要な機能は、循環器系の中心にあって末梢からの血液を受け、肺循環を介してガス交換を行い、再びそれを体循環を通じて末梢の臓器組織に送り出すポンプ作用にある。この心臓の解剖と機能について講義する。 4. 血圧について、「血圧とはなにか?」「血圧はどのように調節されているのか?」を解説する。さらに、生活習慣病の一つとして最も頻度が高く、健康に重大な影響を及ぼす疾患である高血圧に関して、その概念とともに日常生活の注意点など、実際に役立つ知識も含めて講義する。 							
<p>オフィスアワー（質問受付時間）：各講義担当者が講義時に都合の良い時間帯をお知らせします。</p>							